

研究開発部通信



2019 Vol.01 2019/10/17

☆研究開発部ではこれまで生徒の皆さんに様々なコンテストや検定などの応募企画を紹介してきましたが、この「研究開発部通信」ではそんな呼びかけに応じて何らかの企画に参加した人たちの取り組み内容や結果、感想などをレポートしていきたいと思っております！

☆大阪大学 SEEDS プログラム【高 2-9 酒井 玲坪さん】

SEEDSとは「Science & Engineering Enhanced Education for Distinguished Students」の頭文字をとったもので、大阪大学が科学技術人材発見と早期育成を目的として、世界最先端の科学技術にいち早く触れてみたいという意欲的な高校生向けに設定したプログラムです。

酒井さんは「体感コース」に応募し、400名弱から約130名に絞られる筆記試験に見事合格して、すでに7月からプログラムに参加しています。テストは論述中心で、知識よりも発想力や表現力が問われたようだと言っています。このコースでは「体感科学技術・体感国際交流」〔内容：オムニバス形式の講義と講義後の「めばえ道場」（少人数によるディスカッション）や最先端科学技術体験ツアー等と留学生との交流など異文化交流体験〕が、月1回土曜日に開催され、また「体感科学研究」〔内容：物質系、生命系、数物系、応用技術系、情報・数理系の各コースのさまざまな研究や体験参加〕では2講座を自由に選択して参加できます。酒井さんは2つとも8月に受講済みで、8/24・25には「合宿」にも参加したそうです。合宿の初日は5～6名のグループで「なぜ科学が好きか」「どうやって科学と関わっていくのか」を話し合ったこと、2日目には「アカデミックライティング」としてレポートの書き方を教わったことなどが印象に残っているとのこと。

そして今までで一番面白かった講義は9/28に受けた「ひな形としての数学」で、とりわけ「球の表面積と体積にまつわる話題」（分析のひな形）が面白かったそうです。毎回、講義の内容もさることながら、その難しい内容をすぐに理解してしまう知的レベルの高い参加者の仲間に刺激を受けているらしく、さらなる知的好奇心を燃やしている様子でした。



☆トビタテ留学 JAPAN～参加者 2名の報告です。

【高 2-3 吉田梨央さん】 留学先：イギリス

英国留学は費用が高額かつ私費なので経済的に難しかったのですが、先生の紹介で「トビタテ留学 JAPAN」を知り、返済不要の奨学金制度であり文部科学省が主催ということで応募しました。英語の授業だけでなく、選択授業（美術、英小説）などもあり、週末には国内旅行・観光に参加者みんなで行きました。観光もロケ地やゆかりのある土地を観光地化しており、イギリスの観光業にも一役買っていました。多様なバックグラウンドを持つ生徒たちとの生活は衝突もあったものの自分の視野を広げ、多様な価値観を形成することの大切さを学ぶことができました。現地でも体感できないことを体験し、今まで自分になかった新しい視点や考え方が身に付きました。留学を通して広い世界を体感でき、さらに視野が広がります。Comfortable Zone(自分に居心地のいい場所)から出る！あなたの世界を広げる出会い・学び・経験です。騙されたと思って行ってみたい！



【高 2-3 中村慧磨さん】 留学先：カナダ

応募の切欠は、『留学に行きたいけど金銭面で難しい』『どうしてもトロントに行きたい』『中3の時にトビタテの体験談を聞いて“楽しそう！”と思った』の3点です。私は『カナダ警察“独自”の取り組みを調べ→将来の夢を叶えたときに役立たせる』『英語圏のそれぞれの訛りを身に着ける→会話の幅を広げる』『それぞれの国の文化・考えを学びつつ、日本文化を幅広く広める！』を留学計画にしました。応募してよかったと思うことは、『念願のトロントに行くことができた』『応募書類を作るために、自分がどうしたいか真剣に考えることができた』『幅広い年齢層の友達ができ！（現地・トビタテの事前研修・ウェルカムパーティーなど）』などです。苦労したことは、『目的を明確にするための情報集め』『熱意を伝える手段』でしたが、担任の先生と親の協力で乗り切ることができました。これからの夢は、『世界中を回る』『大学でトロントにもう一度留学する』『国際ボランティアに行く』『世界中の良い所を日本に！』です。夢を叶えるだけではなく、さらに自分の夢を広げることができる！



☆研究開発部からのお知らせです。

たくさんの方の公募を告知してきましたが、多くの生徒が参加してくれています。

- ・数学オリンピック : 【中1】9名、【中2】13名、【中3】2名、【高1】7名、【高2】4名、合計 **35名**が出場します。
- ・科学甲子園ジュニア : 【中学生】**6名**が出場します。（各中学校6名まで参加可能）
- ・科学甲子園 : 【高校生】**6名**が出場します。（各高校6名まで参加可能）

まだ、応募可能なものもありますので、みなさん、是非参加してください！詳細は、Classiを見てください。

- ・東京 2020 高校生英語スピーチコンテスト【10/23〆切】
- ・第5回大阪府ビプリオバトル中学生大会【10/25〆切】
- ・北方領土に関する全国スピーチコンテスト【10/31〆切】
- ・中学生高校生アイデアコンテスト【2020/1/15〆切】
- ・日本地学オリンピック 兼 国際地理オリンピック【11/15〆切】
- ・科学地理オリンピック【11/15〆切】 等